

# 北海之光

## 10月号 北海道教区報

安らかに信頼している

ことにこそ力がある

イザヤ書 30章 15節

発行所 北海之光社  
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

### 「共に震える神」

北見聖ヤコブ教会牧師  
網走聖ペテロ教会牧師  
紋別聖マリヤ教会協働司祭  
司祭 フランシスコ 飯野 正行

昨年秋からの入院・手術・治療のためにお祈りくださり心より感謝いたします。お陰様でかなり回復しております。お手紙・ライン・面会・寄書き等を通して大変励まされました。

ちょうど一年前、発熱・下痢・痛みの伴う腹部の張りがあり北見日赤に受診したのですが、採血・レントゲン・CT・胃カメラと諸検査が続き即入院となりました。S状結腸憩室炎による腸閉塞でした。腹部から膿とガスを出し、腸の浮腫が引かない限り手術は出来ないとのこと、ピストルのようなもので麻酔を鼻の中に打ち、右側の穴の中に二メートル六〇センチの管が入れられ、膿とガスが少しずつ出てきました。禁食一九日目に五時間の手術で、S状結

腸切除、小腸一五センチ切除、回腸により人工肛門設置の手術でした。術後七日目(禁食二五日目)に栄養ジュースが出たのですが、しばらく使っていないかった腸が驚いたらしく七転八倒の苦しみでした。重湯のほうが良かったようです。お湯のようなご飯が少しずつ固形になって行き、おかずも固形になり、少しずつ体力がついて行きました。でも、体には七本の管が刺さっていましたので、寝返りを打てない期間もありました。管が一本抜かれたことがうれしくて看護師に伝えたところ「管が一本一本減って行くって希望につながりますよね。幸せは小出しにね」とにっこりされ、私は何故だか胸がいっぱいになりました。私の場合ストーマ(人工肛門)は回腸か

ら取っていましたので、パウチ(袋)に溜まるのは水様便でしたが、それでも少しずつ固形要素が増え、歩けるようになりましてからは自分でトイレに行き、パウチから絞り出していました。パウチの交換はほとんど妻がしてくれました。袋をぶら下げた状態ではありましたが、入院三六日目に退院。シャワーやパウチ交換は大変でしたが妻が助けられました。

一二月に入り、腸の吻合部分の閉塞が認められ、一九日に入院。バルーン拡張手術を受け二四日に退院、イヴ礼拝を行うことが出来ました。朝一でトイレへ行きパウチから便を絞り出すことが一日の始まりでした。この時どうしても便器や体の一部に便が着いてしまい、ペーパーで何度も拭き取り、部屋に入ってから濡れティッシュで体を拭きました。

最後の入院はストーマ閉鎖手術のためです。手術は無事成功。一日間で退院いたしました。

三回の入院、三回の手術。

五三日間の入院。繰り返される流腸や大腸カメラ。退院してからも傷口の化膿や事故等必ずしもロマンチックな日々ではなかったのですが、今回の病苦を通して、素敵な輝きをいただいたように思っています。イエスは、私の弱さの内、私の闇の内に、共におられる方だ、ということ。少なくともこの私にとってはイエス様は「暗闇の中で輝いている光」(ヨハネ一・五)「闇の中を歩む民が見る大いなる光。死の陰の地に住む者の上に輝く光」イザヤ九・一)なのです。いのちの軋みの中で、ただ震えるほかなかった時、イエス様は、震える人と共に震える神として、ずっと私に寄り添ってくださったのです。「あなたはキリストをどう思うか」と問われたなら、「私の闇の中に、ずっと寄り添ってくださいているお方だ」と答えるでしょう。私のような貧しき者でも、イエス様の悲しいくらいに愛に招かれていくのです。



—心の窓をひらいて—

# 福音と私(二四二)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか



今金インマヌエル教会信徒

テレジア 山崎 千佳子



私の好きな聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

(イテサロニケ五章一六節〜一八節)  
小さいころから何度も夢に出てくる場所。小高い丘の上によく細い一本道。緑の畑の中の石ころだらけのその道は、真っ直ぐ空へと延びています。空を見上げる私は小さすぎて、とてもその道を歩いて行けそうになく、その向こうに広がる何かに憧れるひりひりするような気持ちだけを残り目覚める。夢の場所。結婚し神丘に住んでからのことは、いつもの散歩道から

協道に入ってしまった。畑の中の道ですからどこを歩いても同じような景色なのですが、その場所は突然現れたのです。

ああ、ここだったのだ。夕日の中でその道は空へと続いていました。夢の場所、私は、ずっと神丘の地に導かれていたのですね。

夫は、一八九三年、のちにインマヌエルから神丘と呼ばれる地にキリスト教徒として入植し、開拓を進めた山崎六郎右衛門さんの子孫です。肥沃で広大なインマヌエルの地を開墾し、厳しい寒さを乗り越え、命を繋いでくれたお陰で、今、私たち家族はこの地に住んでいます。

山崎の父母は教会に連なる人ではありませんでしたが、

夫は小学生のころインマヌエル教会のクリスマス会などに招かれ、従妹たちと楽しい時を過ごしたそうです。学生さんたちとの楽しいゲームや頂いたクリスマスカードの思い出話を聞きながら、私はありありとその光景を思い浮かべることができたのです。実は私も小学生のころ一度インマヌエル教会のクリスマス会に誘っていただいたことがありました。古い教会の礼拝堂でお兄さん・お姉さんに優しくしていただいた思い出があったのです。(もしかしたら、その時夫と会っていたのかもかもしれません。)現在は、その時クリスマス会を楽しんだ兄弟姉妹と共にインマヌエル教会を守っています。お導きの不思議を感じます。

二〇〇二年、夫と私、長女、長男は植松主教、藤井司祭から洗礼・堅信を受けましたが次女は頑なに拒否しました。そんな次女も昨年、大町司祭より信仰や祈り、愛についての教えをいただき、たくさんの方の祝福の中、結婚しまし

た。少し俯きながら娘の手をとり歩く夫、バージンロードの先をしつかり見つめる娘。その先には、可愛い赤ちゃんとお婚さんが待っています。新しい家族とともに神様の大きな愛の中にいることを感謝しました。

我が家には、「奉仕をする人は、神がお与えになった力に依りて奉仕しなさい」(ペテロの手紙一、四章一節)という聖書の言葉が目につく場所に貼られています。その言葉を目にするたび、私にはできていないと反省してしまいがちです。私も神様が私にお与えくださった力とは何だろうとずっと考えていました。

私は三年前に、小学校教員を定年退職しました。子育てと仕事で、あつという間の三八年間でした。無我夢中でした。忙しくて、辛くて大変な時は、教員という仕事を神様が与えてくれたのだと思っていました。忙しすぎて見えなかったこと、気付かなかったことが何と多かったですか。いいえ、もしかしたら見

て見ぬふり、気付かぬふりをしてきたことの何と多かったですか。今、特別支援教育支援員として働いて、やっと気付いたことがあります。授業中に勉強が分からなくて困っている子どものそばに寄り添って一緒に問題を解いているとき、泣いている子どもを抱きしめるとき、不安な顔で見つめる子の手をそっと握るとき。今までと同じことをしているのですが、何かが違いました。忙しいこと、何十人もの子どもを一人で教えていることを言い訳に、時間を気にし、いつも追われていた私。今は、私を必要としてくれる子どもたちになつぷりと愛情を注ぎ、寄り添うことができ

るのです。教員を退職した先にこのような喜びをご用意くださった神様に感謝します。

現在コロナ禍の中、仕事柄、外出を控え、教会から遠ざかっていることをお許しください。日々、喜びと祈りと感謝は忘れていません。

夢に見た場所インマヌエル「神、我らと共にいます」。

常置委員会報告  
第二一回 九月一四日

《協議事項》

- 一、第七九(定期) 教区会に  
関する件
- ・説教を広谷和文司祭に依頼  
することとした。
- ・新型コロナウイルス感染症予防に配

慮した対応を確認した。  
二、教区会議案に関する件  
・常置委員会より提出する諸  
議案の確認をした。  
三、管区総会に関する件  
・リモートによる実施となる  
が、教区の代議員は教区会館  
に全員が参集して出席する事  
とした。

四、コロナ対応(一〇月)に  
関する件  
・一〇月も従来の対応を継続  
することとした。

五、教区宣教一五〇周年実行  
委員会に関する件  
・教区会前に招集し会合を行  
うこととした。



主教室より

最近、何人もの方から、「どこが悪いのではないかと聞かれます。また私の妻も、私の健康のことです。ように聞かれるとのこと。瘦せたからです。」

医者であった母が心配していたのは私の血圧でした。もともと植松家の家系には脳溢血や脳卒中で亡くなった人が何人もいて、母に言わせると私はその植松家の傾向を持っているのだと。「あなたが脳溢血でさつさと召されるのだったらいいけれど、半身不随になつて三千代さんや教区の皆さんに迷惑をかけるのはよくない」と。それで北海道に来てから定期的に脳神経

外科クリニックに通院していました。

名医であると思つていた母が、「植松家は糖尿病の心配はない」と断言していたので、安心して、美味しいもの、甘いものをいつもたくさん楽しんでいたので、昨年の二月、脳神経外科で血液検査をした際、お医者さんから、「植松さん、これ、糖尿病ですよ」と。そして糖尿病クリニックを紹介されました。検査の結果、血糖値がかなり高く、眼科での検査、末梢神経など様々な検査が続きました。幸いなことに、糖尿病の症状がまだ出ていないということ、食生活の改善、運動や生活のリズムの見直しなどに心がけるように言われました。そして、一大奮起をしたのです。食事時間を規則正しく、食べる量を減らし、酒を節制し、毎日一時間の散歩を課し、一年半が経ちました。体重は約一〇キロ減。血糖値もかなり正常値に近づきました。今も毎月糖尿病クリニックには通っています。お医者さんはいつも「模範的な患者」と褒めてくれます。

「無病息災」もいいのですが、私にとって「一病息災」はありがたいことでした。そのような訳で、私の健康を気遣つてくださる方、私は大丈夫です。ご心配ありがとうございます。でも、母が生きていたから、きつと大目玉を食らつたでしょうね。

主教 ナタナエル 植松 誠

公 示

日本聖公会北海道教区第79(定期)教区会を下記のように招集します。

救主降生 2020年10月1日

日本聖公会北海道教区  
教区会議長  
主教 ナタナエル 植松 誠

記

日時 2020年11月23日(月・祝)  
午前8時30分から午後4時まで  
場所 日本聖公会北海道教区主教座聖堂  
(札幌キリスト教会)  
札幌市北区北8条西6丁目2-18

なお、本教区会書記及び教区会会計を次のように任命します。

教区会書記	司 祭	サ ム エ ル	吉野	暁生
教区会会計	執 事	ノ ア	上平	更 知樹
	財政部長	オーガスチン	橋本	

十 教区逝去教役者  
記念聖餐式

一二月二日(水)  
午前二〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

- |     |          |            |     |           |            |
|-----|----------|------------|-----|-----------|------------|
| 司 祭 | J・ウイリアムス | 一九二〇年一月一日  | 伝道師 | 渡 辺       | 一九二二年一月一九日 |
| 主 教 | W・アンデレス  | 一九三二年一月一日  | 主 教 | G・J・ウォルシュ | 一九七二年一月一九日 |
| 主 教 | 前 川 真二郎  | 一九五三年一月一日  | 司 祭 | 雨 宮 大 朔   | 二〇一五年一月一九日 |
| 伝道師 | A・M・エバンス | 一九五一年一月二日  | 執 事 | 富 田 恒 躬   | 一九四〇年一月二日  |
| 執 事 | 町 田 巖    | 一九九七年一月三日  | 司 祭 | 鈴 木 善 四郎  | 一九一八年一月二六日 |
| 執 事 | 中 西 弘    | 一九八九年一月七日  | 伝道師 | A・M・タブソン  | 一九四〇年一月二六日 |
| 伝道師 | 鈴 木 雅 彦  | 一九二三年一月二二日 |     |           |            |
|     |          |            | 伝道師 | 松 本 ジョウ   | 一九七八年一月一四日 |
|     |          |            | 伝道師 | ルーシー・ペイン  | 一九三二年一月一七日 |
|     |          |            | 伝道師 | 西 田 喜 一   | 一九六一年一月一八日 |
|     |          |            | 伝道師 | M・ブラウンロー  | 一九二二年一月一九日 |



### ▽今金インマヌエル教会

この時期の今金インマヌエル教会の周辺は収穫作業に大忙しです。ただ今年は雨が多く、収穫作業が大幅に遅れて、霜が降りる前にと、皆さん殺氣立っているらしいとの事です。

インマヌエル教会名物のハロウィンかぼちゃは、ジャンボ五、六個とオモチャかぼちゃが大量に出来ていて、こちらも準備に大忙しです。

今年も十一月の主教様巡回日の収穫感謝礼拝には、四月に祝福を受けた種が、豊かな収穫物となって祭壇前に並ぶことでしょうか。

### ▽岩見沢聖十字教会

九月一二日、幼稚園運動会

がスポーツセンターで開催。感染症対策として初めての二部制。試行錯誤でしたが、どの子も元気に競技に参加。保護者の感想も好意的。

二〇日、池田享司祭司式による聖餐式。恵みの一時となる。二七日から「み言葉の礼拝」が再開。毎主日、礼拝堂は開放されます。

岩見沢市の市長再選。国政では新総理誕生。時のリーダーの為に祈るのはクリスマスチャンの務め。働きを祈ります。

市からコロナの為に、保育士に給付金支給・温情に感謝。

### ▽旭川聖マルコ教会

九月もこれまでと同じ感染症対策を継続することになりました。気をつけながらの礼拝に、少し慣れてきたようにも思います。

一〇日、婦人会のお仕事会が再開し、保育園のおやつ作りを行いました。一三日は敬老礼拝。お祝い会のかわりに、教会から八〇歳以上の人にプレゼントが贈られました。二七日は、広谷司祭が稚内で

聖餐式のため、久しぶりに言葉の礼拝を行いました。

バザーは中止ですが、毎週礼拝後に行われるミニバザーが秋の楽しみになっていきます。

### ▽小樽聖公会

九月の小樽は初旬の残暑から月末の寒さまで、季節が一気に夏から秋へと変わりました。そんななか、中旬には信徒による今年二回目となる教会の周りの草刈りが行われ、冬に備えることができました。

礼拝堂の窓に網戸が設置されましたが、冬は窓を開放できないため、効果的な換気が行えるかどうか不安が残ります。歴史的建造物の指定も受けているため、外観に影響を及ぼす設備工事が困難でもあるので、これまでの感染症対策をしながら礼拝後に窓を開けて換気を行うことといたしました。

### ▽新冠聖フランシス教会

例えば、二月二日の被献日が主日と重なった日、植松主教さまの前期の巡回をいた

いた日でした。この日の夕刻、ボアズ奥田康嘉さんのご逝去が知らされ、急遽主教さまが直後の祈りに同行してくださった日でした。そして、翌日三日にあのダイヤモンド・プリンセス号のコロナ感染が報じられました。直ぐにはありませんでしたが、それから「コロナ禍」の状況となり、教会もいろいろな影響を受けてきました。収穫感謝、クリスマス、どのように準備をしていきましょうか？

### ▽帯広聖公会

老朽化していた牧師館の外壁は木のイメージを継承しつつ装いが新たにまりました。幼稚園のフェンスも防犯と教会への入り易さを考慮しつつ改善されました。幼稚園の運動会は一四日〜一七日にかけて分散実施されました。

札幌キリスト教会より吉村綾子さんが転入籍。心より歓迎いたします。

今年「ご長寿をお祝いする会」に代えて八〇歳以上の皆様へ記念品として「名前入りの今治タオル」が贈られます。

した。阿部先生の司祭按手から早くも一ヶ月が経過しました。大きな喜びと主に感謝。

### ▽稚内聖公会

九月の礼拝は九月二七日、久しぶりに日曜日の礼拝となった。礼拝堂には早くもストーブの火が燃える。奈良キリスト教会の谷脇博史さん、豊富町の風力発電機建設のため来稚。二年間の予定で稚内に住まわれることに。早速この小さな群れに加わって下さる。歓迎！当教会は二〇二一年より教区の伝道所として再出発することになった。たといどのような形であっても日本最北端の地に福音の灯をともし続ける存在でありたい。

△天の川 ロシアの空へ  
流れけり わぶん

### ▽平取聖公会

新型コロナウイルスで始まった一年ですが、四分の三が過ぎ残り三カ月です。当地では稲とデントコーンと二番牧草そして野菜の収穫が進んでいます。「天高く」の季節ですので和牛、乳牛、養豚、

軽種馬が放牧される姿が見られます。

一〇月末の収穫感謝礼拝、一月初めの逝去者記念礼拝、一二月の植松主教巡回、クリスマスと行事が続きます。コロナの一日も早い終息を祈るばかりです。

保育園はコロナ対応で多くの行事が中止となりましたが代替え行事の工夫をして保育を進めています。新園舎の建築に向けて高橋園長のご苦勞が続きます。

▽札幌聖ミカエル教会

九月といえども暖かく、礼拝前にストーブをつけて暖めておくという日課はありませんでした。六日、日曜学校の二学期が始まり、先生たちがあの手この手で催しを企画したお陰で三〇人を超える出席をキープしています。二七日、現礼拝堂の献堂六〇周年記念礼拝を行う。七〇名の出席で幼稚園ホールを第二会場に使う。長く牧師を務められた大友司祭の説教から、多くの人々の賜物が都度捧げられ、今日の教会に成長したことに

思いを寄せました。来年は、「宣教」七〇周年。大きな区切りです。聖霊の導きを感じるとともに祈ります。八日、ヒルダ 戸田幸子さんがご逝去。九八歳でした。魂の光明と平安をお祈りします。

▽札幌キリスト教会

九月五日、今年で二回目となる日曜学校同窓会を開催、ズームの活用で遠隔地からの参加もありました。六日、舞の教会共同墓地での墓参の礼拝と埋葬式に、約七〇名が参集。一日、沢辺義一さんが、病床で洗礼の恵みにあずかられました。一日、高齢者の祝福礼拝。例年のような会食を伴うお祝い会は、行いませんでしたが、メッセージDVD/CDが各ご家庭に届けられました。「よりみちマルシェ」が、日曜日の午後と木曜日に開店しており地域の皆さんに好評です。二七日、「み言葉の礼拝」が信徒奉事者司式と、福島康高さんの奨励によって捧げられました。

▽新札幌聖ニコラス教会

数年来の懸案事項であった

外壁塗装が仕上がりに、新しい色合いの教会となりました。信徒の心にも新しい息吹が吹き込まれますように！

手作りのマスク、家庭菜園の野菜を礼拝後に信徒内で買い求め、壁塗装献金にお捧げしています。小さい教会のさやかな働きです。祭壇のお花も信徒が育てたお花で祭壇を美しくしています。静かな雰囲気の中で主日礼拝を守っています。コロナは私たちに様々な試練を与えましたが、新しい歩みをするようにとの神様のみ心かもしれませぬ。

▽有珠聖公会

九月二七日、主日聖餐式。礼拝後、先月に引き続き参道の街灯ならびに聖堂のライトアップ計画について話し合われました。洗礼・堅信準備が志願者の他、教会員にも開かれた学びの場として続けられています。降誕日礼拝は、植松主教様の巡回をいただく二二月二七日に合わせて行われる事となりました。コロナ禍の下でも、地域に開かれた

クリスマスとするための工夫と配慮について考えているところ です。

▽留萌キリスト教会

しぶとい残暑から一転し、急激に冷えて秋が到来した九月の留萌。渡り鳥マガンの群れが見られました。入院予定日に病院に行つた千葉雅子さんは、検査の結果手術の必要がなくなったことが確認され、すぐに帰宅出来ました。主に感謝。

▽函館聖ヨハネ教会

ようやく涼しい風を感じる美しい九月となりました。例年であれば聖堂コンサート、大バザーなど、楽しい行事が盛りだくさんの季節です。残念ながら、今年は新型コロナウイルスの影響により全て中止となりました。

▽紋別聖マリヤ教会

暑い夏もようやく終わり、台風の影響で急に寒くなりました。すっかり秋の気配です。教会では、九月一三日、主教さん御夫妻をお迎えして、主日礼拝が行われました。岡村カツさん、釧路から鳴海範子さんが来て下さり、にぎやかに

りました。昼食を頂き会話はずみましました。ジェームス・エリックソン兄の教籍がカナダ福音ルーテル教会から八月一〇日付で紋別聖マリヤ教会の教籍簿に登録されました。正式に教会の信徒になりました。ジェームス兄に拍手を送りたいと思います。主に感謝。

そのような状況下ですが、オープンチャッチでは、全道の修学旅行生がたくさん訪れます。勿論、感染対策はしっかりと行っています。

突然ミニバザーも大盛況

地域の方々との楽しいふれあいの時間でした(二〇日)。

聖堂入口のペンキ塗り、環

境整備などを行いながら冬の準備を行っております。

私たちは肅々と信仰生活を守っております。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

九月に入り、教区財政部長橋本知樹兄が帯広より来釧し厚岸教会会計の今後の対応についてご指導を仰ぎました。

釧路では、一三日の主日礼拝より、遠藤洋一兄逝去記念として寄贈された「聖書協会共同訳」聖書を使用。信徒一同、心新たにして聖書に向きあつていきたいですね。同日礼拝後、水科五郎伝道師の殉教記念碑前で祈り、紫雲台の八代斌助主教様のご逝去五〇周年記念の祈りを共にし、北斗霊園の教会墓地にて墓参の祈りをいたしました。その後

私たちの親しき遠藤洋一兄の納骨式がご家族と教友の見守りの中、行われました。整備されて心地よい墓地礼拝ができ、及川ご夫妻に感謝です。

保育園では、八月末に三歳未満児、九月五日には晴天の下、三歳以上児の運動会が行

われ、観客は少なくても元氣一杯の子どもたちの姿が見られました。

厚岸では教会窓のカーテンが見違えるほどきれいになり、明るくなっています。いつも心にかけて下さる佐田里美さんに感謝です。(訪れた

い方は、釧路の教会に連絡を) 九月五日深川あけほの保育園第四八回運動会、昼食無し

の短縮、子どもたち生き生きと健康ぶりを発揮する。一日、同職員会議。コロナ対策に真剣な取り組みで園児全員無事の日常生活。ただただ感謝。

昔ヨーロッパを襲ったペスト病はキリスト教が猫を悪魔視、猫の減少、ねずみの大量発生が原因という説もあります。コロナ禍で教会活動の記事がありません。信徒は今、隠れキリシタンのようです。踏み絵も無し、キリシタン弾圧も無しなので、まだ光は注がれております。

▽聖マーガレット教会

九月末をもって客員のメン

バーである菊池啓二さん・公美さん・咲良さん(現在、幼稚園年中さん)とお別れ。赤ちゃんからその成長を見てきただけに、別れはさみしい。新たな地での、神様の祝福とお守りを祈る。

九月、教会は殊に高齢の信徒の方々をおぼえて祈る。体調を崩される方が少なく

ない。長期入院療養されている方、その名を憶え祈る日々がつづく。からだが弱るところも弱る、ところが弱るところからだも弱る。ゆえにイエスさまのお支えを願う。

▽網走聖ペテロ教会

季節が少しずつ変わる中の一つ一つの思い出を振り返る事が増えてきました。二〇日、主教巡回礼拝、奥様も来られホームの子ども達も出席、昼飯を囲み近況報告を語り合いながら、和やかなひと時を過ごしました。毎月持たれる聖書の学びやペテロの会、小さな群れの中にも神様の導き、恵みを受けながら主と共に生活しています。障がいを持つ

子が礼拝堂のイスに座り十字

架をじつと見て「神様いるね」とつぶやく。きつとイエス様を見たのでしょね。ハレルヤ。

▽北見聖ヤコブ教会

ストープのスイッチを時々入れるようになりました。

教区への奉献額を提示額通り信仰をもって献げること

を決めファックス済み。二〇日、主教巡回礼拝。礼拝後皆で葡萄の収穫をいたしました。司祭は網走刑務所より表彰されました。北見牧師会が当教会で一五日に行われ、八名が集い、祈りと御言葉と交わりの時が持たれました。司祭は一六日、紋別幼稚園のお誕生礼拝、二一日、岩見沢平安閣でのブライダルをし、秋の教役者会はリモート参加をいたしました。プラタナスの道は秋の道です。

▽室蘭聖マタイ教会

九月六日、二〇日は藤井兄による、み言葉の礼拝。

一三日、二七日は吉野司祭による聖餐式。

教会のトイレが古くなり、一〇月より改修する事にす

る。

登別市幌別の落合姉が、昔父上が聖公会に来たとの事で、先月初めて見え、二七日、また来られました。礼拝後、聖書輪読会にも出られ、感謝しておられました。

吉野司祭は週報、旧約、新約、詩編、使徒書、福音書、聖歌、福音書の説教も印刷され大変感謝しています。

▽苫小牧聖ルカ教会

季節の変わり目を感じられない気候でしたが、朝晩、寒くなつて、ストープをたきました。九月一九日、教会の前の三角公園で、新型コロナウィルス対策で、家族の参加制限などをして、幼稚園の運動会が行われました。先生達の色々な工夫で、ハンディのある子ども達も楽しく参加して、素敵な運動会でした。

聖ルカバザーは残念ですが、中止になりました。

聖書輪読会が再開されて短い時間ですが、学びの場が与えられる事に改めて感謝しております。